

呼吸器内科・医療の質
臨床指標
成人市中肺炎経年データ
8年の経過

公表されたDPCによる臨床指標
「成人市中肺炎の重症度別患者数等」
呼吸器内科のクオリティマネジメント

肺炎：重症度分類

- A-DROP方式……予後因子で分類
0, 1, 2, 3, 4, 5点が付けられる
軽症(0)、中等症(1, 2)、重症(3)、
超重症(4~5)

項目：Age

Dehydration

Respiration

Orientation

Pressure

DPC code 年齢A000010

1 0 0 0 1 0 5

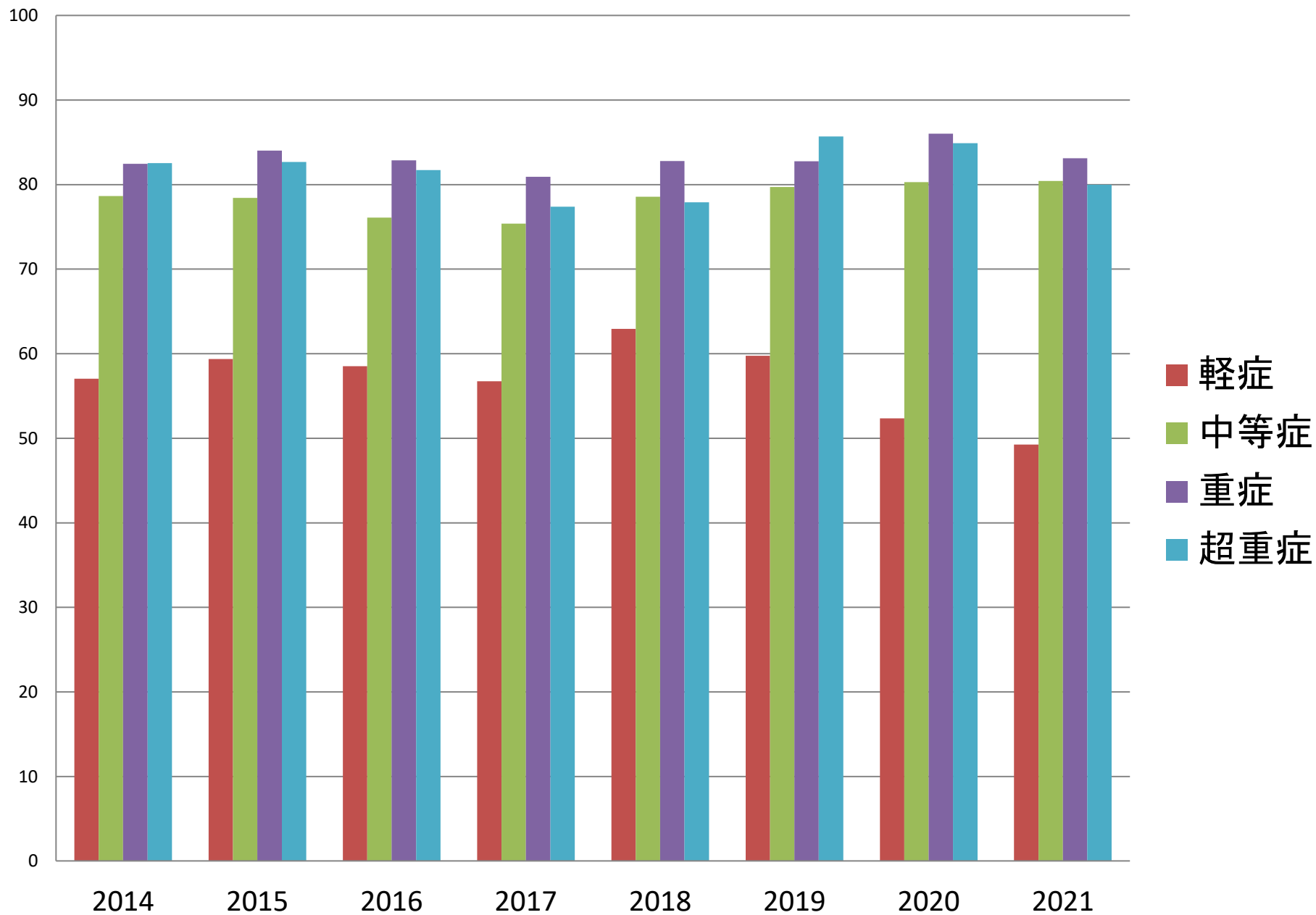
院内肺炎、市中肺炎

肺炎重症度規定因子

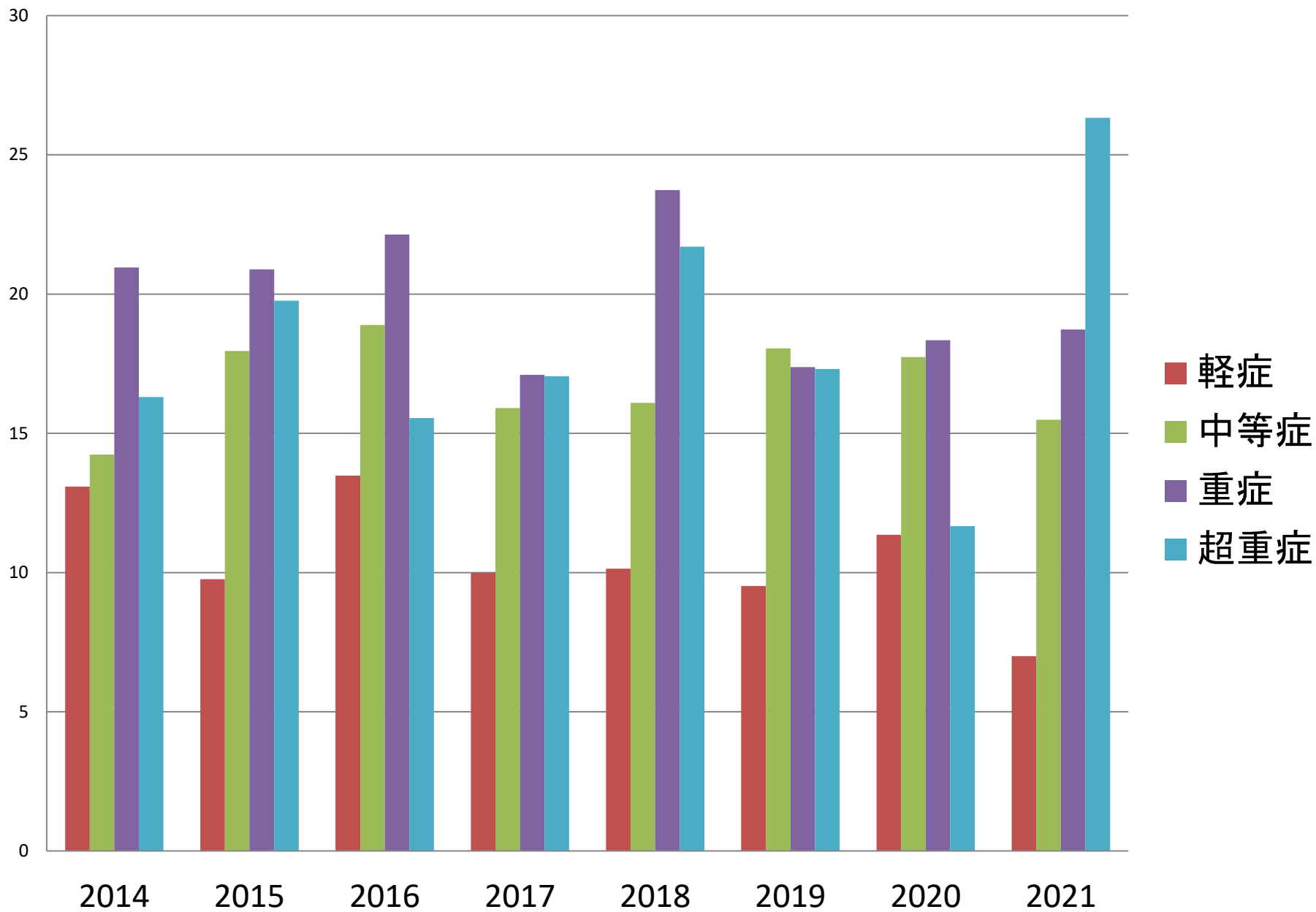
免疫不全状態

平26～令3年度	年平均患者数	平均在院日数	平均年齢	退院時転帰	
				平均死亡数	平均死亡率
軽症	17.5	10.54	57.0	0	0
中等症	119.8	16.8	78.45	7.75	6.5
重症	39.4	19.91	83.12	6.13	15.6
超重症	19.3	18.21	81.6	6.0	31.2

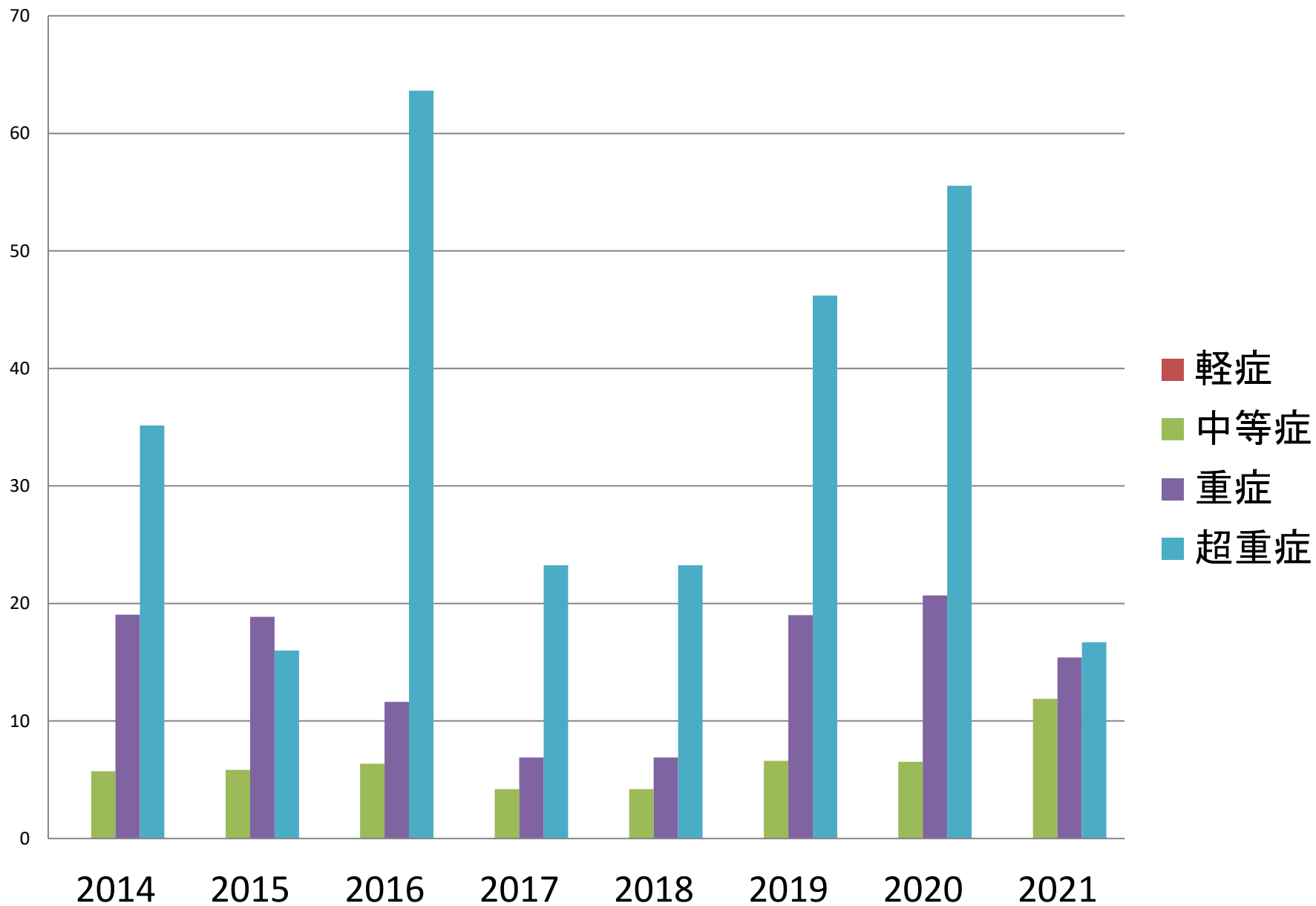
平均年齡



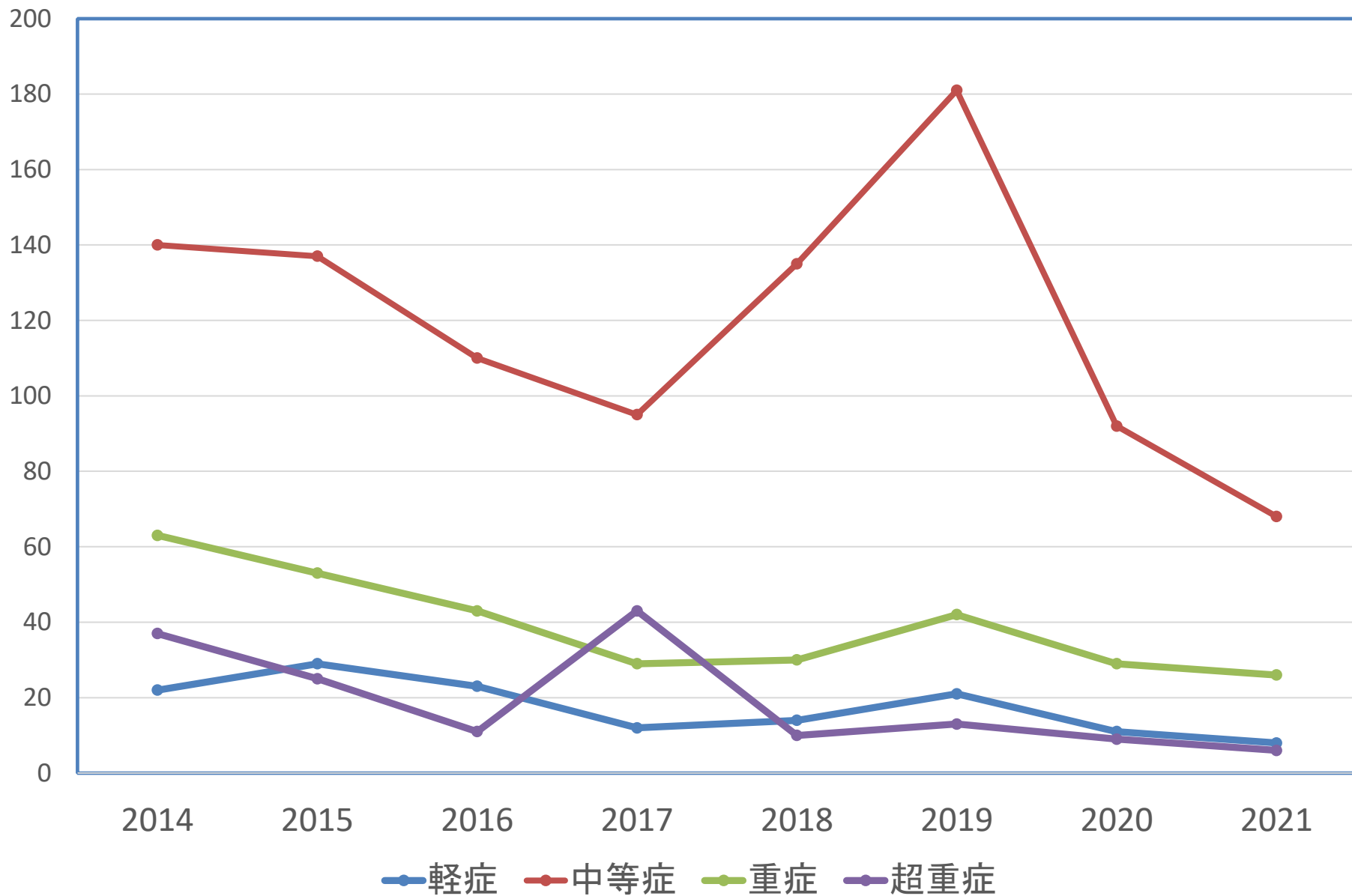
平均在院日数



死亡率%



患者数の推移



まとめ

成人市中肺炎の重症度別患者数等 (DPCデータ)8年のデータ蓄積

- 新型コロナウイルス感染症蔓延の時期に、市中肺炎患者数が激減し、この傾向が持続。
- 重症と超重症の死亡率は増減を示していない。
- 軽症死亡率は毎年0%で一定。
- 中等症の平均年齢が80歳代を維持している。死亡率は11%に上昇。